



保健・医療・福祉の動向と地域との関わり —地域包括ケアシステムの時代を迎えて—

野村病院理事長・東京武蔵野 RC 野村 幸史様

卓話者紹介

侯野 幸昭会員

昭和 30 年生。昭和 57 年東京慈恵会医科大学卒業、全国病院経営管理学会副会長、日本人間ドック学会理事他。東京武蔵野ロータリークラブでは平成 21～22 年に第 53 期会長を務める。現在、昭和 27 年開設の医療法人財団慈生会野村病院理事長として病院、附属予防医学センターおよび訪問看護ステーション等を経営されています。

2015 年の国勢調査によると、外国人を含む日本の総人口は 1 億 2700 万人となりました。日本人に限った人口のピークは、平成 20 年の 1 億 2800 万人で、今は 1 億 2400 万人です。今までは外国人が増えていたので全体の人口は減らなかつたのですが、いよいよ減少の傾向にあります。年少人口という 15 歳未満の人口と高齢者の人口が同じになったのが、だいたい平成 8 年と言われています。そこから人口減少の時代がやって来ました。そして、驚くことに、昨年の国際調査で年少人口と後期高齢者（75 歳以上）の人口が逆転し、年少人口が 1600 万人をきり、後期高齢者人口が 1600 万人を越えました。

三鷹を含めた二次医療圏の圏域の中で、多くの病院はデータを提出しているの、疾病ごとの患者数や手術数などが分かり、その結果、その中での競争が始まり、「選択と集中」の時代になりました。例えば、榊原記念病院の心臓外科手術は 6000 件と、この地域の多くの手術を行っています。このように、その病院にしかできない特徴を考え、日本中の病院が「選択と集中」に移行しつつあります。従って専門志向が強くなりライセンスを持った上にさらに専門医や認定医などの取得が求められます。しかし、現場の医療は専門だけで解決するわけではありません。当病院は榊原病院のような運営を求められてはいません。

専門医療に対して総合医療の重要性がクローズアップされるようになりました。専門には 2 つがあり、所謂スペシャリストと云われる狭い領域を深く極める「垂直専門性」と、ジェネラリストという広さに専門性を求める「水平専門性」があります。所謂スペシャリストだけでは患者さんの問題に答えるのは難しいので、ジェネラリストを育成して、スペシャリストとジェネラリストの二つが補完することが必要です。当病院はジェネラリスト、即ち総合診療を推進し地域完結的医療の促進に取り組んでいます。

日本人の平均寿命がなぜ世界一になったかという、好ましい食文化、公衆衛生対策と昭和 36 年

に導入した国民皆保険制度などがその要因として

挙げられています。戦後 50 年の中の前半 25 年は公衆衛生対策、後半になってようやく医療が貢献したと考えられています。

今後は平均寿命を延ばすことではなく、健康寿命を延ばすことが国家的な課題です。男性は福祉などの生活支援を必要とするのは 9 年弱ですが、女性の場合は寿命が長い反面 13 年ぐらひは福祉支援を必要とし、これを短くすることが求められています。

日本の社会保障制度は、医療（契約事業）、保健（指導事業）、福祉（措置事業）の三つがバラバラでしたが、平成 9 年に介護保険制度を制定し、高齢者の福祉費用を、公助から共助の保険制度にし、国民全体が等しく負担するようにしました。他、いろんな取組みをし、医療、保健、福祉が重なり合う部分は、公助ではなく共助で補ってききましたが、共助も限界にきていますので、互助（民政委員制度やボランティアなど）や自助（自分のことは自分、または家族や民間サービス）など、ロータリークラブも含めて地域との関わりなど、大変意義があると思います。

終末期医療の経験を通して地域社会自体が、医療機能を有していることを実感します。自宅の匂いや光景など日常生活空間に治る力が宿っているように思われます。しかし、病院でしか最後を迎えられない患者さんには住宅事情だけではなく、家族事情もあります。それでも患者さんの本心は自宅または自宅に類する場所で、最後まで生活することを望んでいることが多いのです。

地域包括ケアシステムとは「住まい」「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」を“包括的に”体制を整備していくということです。千代田区も含めて市区町村が来年の 4 月から始めるべく、さまざまな活動をしています。

今までは患者個人に対して医療や福祉の支援をしていましたが、これからは地域社会が個人の自立を目標にしたコミュニティ作りが必要だと思えます。今後の社会でのロータリークラブの役割は非常に大きく、コミュニティを支える互助活動の支援や、住民が集まれる「場」づくりへの関与、顔の見える街づくりの推進、そして、地域における異業種交流の促進など、ロータリーに求められるものは大きいと思えます。

閉会点鐘

小田 孝志会長

創立/1993 年 10 月 13 日(平成 5 年)
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-2
グランドメゾン九段 906 号
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp
<http://tokyo-orc.jp/>

例会日 毎週水曜日 12:30～13:30
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111
会長 小田 孝志 幹事 奥山 聡
会報 八木 壮一(委員長) 松島 健(副委員長)
大原正道 佐々木啓策 山下秀一 山下憲男(委員)